

5. 災害調査 (11)新潟県柏崎市高柳地区雪崩調査 (2013. 1. 29)

研究代表者	雪氷防災：上石 勲	実施期間	平成 24 年度
研究参加者	新潟県柏崎地域振興局地域整備部(2名)		

[目 的]

2013年1月29日、新潟県柏崎市高柳地区の雪崩調査を新潟県柏崎地域振興局地域整備部からの依頼により実施した。積雪や雪崩発生状況を現地調査によって把握し、今後の雪崩対策などに資することとした。

[実施内容]

調査実施日：2013年1月29日

調査個所：新潟県長岡市高柳地区(図1)

[成果と効果]

調査により雪崩発生状況や積雪状況などについて把握した。

- ・雪崩発生日時：2013年1月27日(4:00に除雪業者より通報)
- ・雪崩種類：面発生湿雪全層雪崩
- ・雪崩規模：長さ約300m、幅約50m
- ・発生面での傾斜：約35~40度
- ・雪崩規模：長さ約30m、幅約55m、デブリの厚さ4m
- ・雪崩発生状況

県道脇の斜面から湿雪全層雪崩が発生し道路を幅55mにわたって埋めた。現地調査では斜面状況、その後の堆雪スペース確保などにより道路まで雪崩の到達する可能性は低いものと判断した。

また、近隣の斜面でも雪崩が多数発生した(図2)。一部道路近くまで流下したところもあった。ここでは、雪堤を道路脇に作ることによって雪崩の被害を防ぐ対策をアドバイスした。



図1 雪崩発生個所(左は道路までは到達せず)



図2 雪崩発生状況(柏崎市高柳地区2013年1月29日)

[行政機関等への貢献]

雪崩発生状況については新潟県からの情報を頂いた。今回の現地調査を同時に行い、今後の対策についてのアドバイスを行った。